

佐賀県医療センター好生館 救急科 超音波診断装置 調達業務仕様書

項目番号	要件	
1		救急科 超音波診断装置について、以下の構成であること。
1	1	超音波診断装置
1	2	心臓用セクタ型プローブ
1	3	表在用リニア型プローブ
1	4	腹部用コンベックス型プローブ
2		項目1-1で示した超音波診断装置について、以下の要件を満たすこと。
2	1	本体寸法は、幅500mm×奥行550mm×高さ1500mm以下であること。
2	2	本体の重量は63Kg以下であること。
2	3	本体にSSDを内蔵していること。
2	4	19 インチの LCD 高解像度カラーモニターを採用していること。
2	5	フルタッチスクリーン仕様で、手指で操作が可能であること。
2	6	凹凸のないモニターで、清掃することが可能であること。
2	7	プローブポートを4つ有していること。
2	8	プローブケーブルが床につかない設計であること。
2	9	ECGケーブルが搭載可能であること。
2	10	装置本体は充電式バッテリーを標準装備し、バッテリーで約4時間駆動できること。
2	11	バッテリー稼働時間を時・分および色で分類し表示可能であること。
2	12	スリープ及びスタンバイモードから起動する際、システムの起動時間は7秒以内であること。
2	13	走査方式はコンベックス電子走査、リニア電子走査、セクタ電子走査が使用できること。
2	14	Bモード法、Mモード法、カラードプラ法、パワードプラ法、連続波ドプラ法、ティッシュドプラ法が表示可能であること。
2	15	自動画像解析機能を有していること。
2	16	項目2-15で示した機能において、選択したエリアのLVOT(左室流出路)をワンステップで検知し、圧較差を算出することが可能であること。
2	17	項目2-15で示した機能において、リアルタイムでB-lineをハイライトし、カウントできること。
2	18	項目2-15で示した機能において、経時的な下大静脈径(IVC径)を自動計測し、リアルタイムで最大・最小径から、虚脱指数(CI)を表示できること。
2	19	画像になる前の生データ(Raw DATA)の管理機能を有していること。
2	20	DICOM3.0に準拠した出力で、DICOM-Storageに対応可能であること。
3		項目1-1で示した超音波診断装置におけるBモードについて、以下の要件を満たすこと。
3	1	表示深度は最大30cmであること。

3	2	複数の異なる方向への超音波ビームの送受信により、境界や組織を明瞭にするコンパウンド機能を有していること。
3	3	画像情報を増やし平均化処理を行うフレームアベレージ機能は、6段階から選択可能であること。
3	4	超音波画像の画質劣化の要因となる斑点スペckルノイズを低減し、高画質の画像を得るアルゴリズムを搭載していること。
3	5	穿刺針の視認性を高める機能を搭載していること。
4		項目1-1で示した超音波診断装置におけるMモードについて、以下の要件を満たすこと。
4	1	表示速度を、8段階以上から切り替えることができること。
4	2	任意方向にビームを挿入し、Mモード画像を抽出できること。
5		項目1-1で示した超音波診断装置におけるカラー/パワードプラモードについて、以下の要件を満たすこと。
5	1	カラードプラ、パワードプラの参照周波数を2段階以上から切換えられること。
6		項目1-1で示した超音波診断装置におけるパルス(PW)/連続波ドプラ(CW)モードについて、以下の要件を満たすこと。
6	1	ドプラアングルは1° 毎に調整可能であること。
6	2	PW使用時には、繰り返し周波数レンジは、700Hz～19,800Hzであること。
6	3	CW使用時には、繰り返し周波数レンジは、2,100Hz～40,000Hzであること。
7		項目1-2で示した心臓用セクタプローブについて、以下の要件を満たすこと。
7	1	周波数帯域は1.6～4.5MHzであること。
8		項目1-3で示した表在用リニアプローブについて、以下の要件を満たすこと。
8	1	周波数帯域は3.5～12.0MHzであること。
8	2	プローブにボタンを配置し、そのボタンで超音波診断装置の基礎操作が可能であること。
8	3	ユーザーが、項目8-2で示したボタンに超音波診断装置の操作を割り当てられること。
9		項目1-4で示した腹部用コンベックスプローブについて、以下の要件を満たすこと。
9	1	周波数帯域は1.5～5.0MHzであること。
10		その他の付属品について、以下の要件を満たすこと。
10	1	白黒プリンタが付属していること。
10	2	項目10-1で示した白黒プリンタについて、印刷方式は感熱方式であること。
10	3	項目10-1で示した白黒プリンタについて、色や明るさの濃淡が256階調以上で表現できること。
10	4	項目10-1で示した白黒プリンタについて、本体のパネルから操作可能であること。

10	5	当館で発行されたバーコードから被験者情報を読み取るため、GS1 DataBar (RSS/RSS 合成シンボル)等が読み取り可能なバーコード対応リーダが付属していること。
11		接続について、以下の要件を満たすこと。
11	1	項目1-1で示した超音波診断装置について、当館で運用している診療文書管理・診療業務支援システムとLAN(100BASE-TX)を用いたソケット通信により連携できること。
11	2	項目11-1で示した診療文書管理・診療業務支援システムは、富士フイルムメディカル社製「Yahgee」であることを明示する。
11	3	項目1-1で示した超音波診断装置は、当館で運用している動画像ファイリングシステムともLAN(100BASE-TX)を用いたソケット通信により連携できること。
11	4	項目11-3で示した動画像ファイリングシステムは、ネクシス社製「Nahri AQUA」であることを明示する。
11	5	項目1-1で示した超音波診断装置は、当館電子カルテシステムと接続されたパソコンとLAN(100BASE-TX)を用いたソケット通信により情報を取得することを想定していることから、超音波診断装置においても、これと同規格のインターフェイスを有していること。
11	6	項目11-5で示した電子カルテシステムについて、NEC社製「MegaOakHR」の最新バージョンであることを明示する。
11	7	項目1-1で示した超音波装置から、項目11-1で示した診療文書管理・診療業務支援システム及び項目11-3で示した動画像ファイリングシステムへ、DICOM-Storageによる画像データ送信が可能であること。
11	8	項目11にて挙げたシステム連携作業については調達の範囲内とすること。
12		その他
12	1	令和3年3月31日までに、本仕様書に掲げる装置について、搬入・設置・据付・調整等を確実に完了し、安定した稼働ができるようにすること。
12	2	装置の設置調整費用は、今回の調達範囲に含むこと。(一次側設備[電気・空調・給排水等])の費用は含まない)
12	3	上記の仕様を満たし提案する機器に関しては、入札時点で『医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律』(薬機法)に定められている製造・販売の承認を受けていること。
12	4	納入前に、納入先担当者と納入スケジュールを確認し、合意の得られた日程で作業を進めること。また、計画書類を提出する等をし、情報の齟齬が無いように努めること。
12	5	装置の設置調整にあたっては、当館スタッフとの協議の上、その指示によること。また、搬入の際には納入業者が立ち会うこととし、当館に損傷を与えないように注意を払うように努め、必要がある場合、搬入経路に養生等を施すこと。
12	6	当館の建物及び設備等に損傷を与えた場合、納入業者の責任において現状復旧すること。
12	7	機器設置にあたって、使用許可等関係行政機関への申請が必要な場合は、届出書類の作成のための資料等の提供を行うこと。
12	8	本調達に関する契約の締結後、本仕様書に掲げる装置のバージョンアップ等があった場合は、契約額を変更することなく、最新のバージョンに修正し契約期間内に確実に納品すること。
12	9	装置やシステムの納入から起算して1年間は、それらの修理及び保守について無償で行うこと。

12	10	落札業者及びメーカーにおいて、各種障害が発生したときに早急な復旧を可能にするサービス体制を構築しており、当館に対してその証明が可能であること。
12	11	装置やシステムの故障、不具合に対して、夜間及び土日祝日、年末年始においても修理などの対応、連絡体制が整備されていること。
12	12	装置やシステムに関して当館からの依頼がある場合、30分～1時間以内に担当者が到着し、対応する体制が整備されていること。
12	13	操作マニュアルは、日本語版を当館が必要とする部数提供すること。
12	14	納入後1年間に行った調整及び修理等の全ての作業については、当館担当者に報告すること。
12	15	納入期限までに、当館の指示や指定する条件に基づき、当館職員の立会のもとで動作確認を行うこと。
12	16	取扱説明書に関する教育訓練は、当館の担当技士2名以上に対し当館が指定する日時・場所で行うこと。
12	17	納入後1年間は、必要に応じ、電話・現場立会いにより教育訓練を実施することとし、その経費については無償とすること。